

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

建築物の設計、業務を通し社会、環境に貢献する取り組みを実践し、私たちの暮らし・生活に必要な社会インフラの構築に寄与できるよう、安全で快適な環境(建築)づくりを目指し、省資源、省エネルギーや社会貢献に配慮した建築業務を通し文化的創造に寄与する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	ペーパーレス、資源や廃棄物の使用量削減。環境に配慮した設計の積極的提案。	・印刷物の削減(毎年前年比10%) 2026年 30%削減(2023年比)
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	地域貢献、社会貢献に寄与。	・ユニバーサルデザインによる木造建築棟数 2023年3棟→2026年5棟
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	雇用形態、取引先との連携により専門業務の遂行。	・採用人数 2023年0人→2026年1人

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

社会インフラを構築できる職種専門性より、発注者、協力会社、取引先との信頼関係を構築し、自社のみでなく関係者全員がワークライフバランスの実現を図る。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	ペーパーレス、資源や廃棄物の使用量削減。環境に配慮した設計の積極的提案。	印刷物を毎年前年比20%削減を目標
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	データによるやりとりで印刷物を減らした。工事監理でも製本図面の利用でなくipadに設計図を保存し紙資源物の使用量を削減し、目標を達成できた。	前年比で実質30~40%ほどの削減を実現した。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	地域貢献、社会貢献に寄与する。 文化的建築の創造。 ユニバーサルデザインによる建築物の設計の徹底。	省エネ建築の6棟実現
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	設計案件のほぼ100%を地場産材による木造化・木質化を実現し、目標を達成できた。	2023年 6棟
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	雇用形態、取引先との連携により専門業務の遂行。 従業員の雇用促進、協力会社との連携強化。	2024年までに従業員を2人に増やす。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	従業員雇用については昨今の建設高騰のあおりを受け受注が伸び悩み未達成。取引先との連携は問題無く遂行できている。	採用人数 0人。

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。